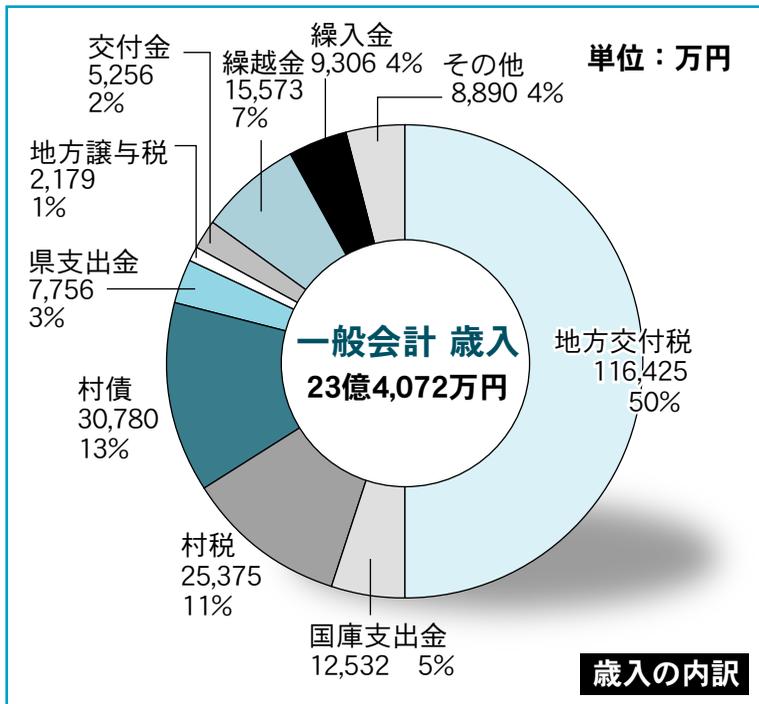


# 平成28年度決算報告

平成28年度決算が9月に開催された村議会定例会で認定されました。一般会計では、歳入総額が23億4,072万4,317円、歳出総額が21億7,174万5,133円で、差し引き1億6,897万9,184円の黒字決算となり、平成29年度へ繰り越しました。これは、平成27年度と比較すると、歳入で3億2,016万2,099円（15・85%）、歳出で3億6,917万5,454円（16・46%）の増額となっています。

## 平成28年度一般会計の状況

歳入総額 23億4,072万円  
 歳出総額 21億7,174万円  
 差し引き 1億6,898万円  
 の黒字決算となりました。



### 歳入

平成28年度は、27年度と比較して、歳入が約3億2,016万

円の増額となりました。これは、和紙の里農産物直売所をはじめとした建設事業を実施するため、過疎対策事業債の借入れと、

基金の取りくずしをおこなったためです。また27年度と比較して、県支出金や地方交付税等は減額となりましたが、国庫支出金や村の要である村税のほか、寄附金等の費目で増額がみられました。

主な費目の概要は次のとおりです。

地方交付税は、財源不足を補うため国から交付され、村の歳入の骨格となっており、27年度に比べ約4,944万円の減額となりました。

村税は、村民の皆さんから納めていた、たいした固定資産税や住民税で、村の自主財源のほとんどを占めているものです。27年度に比べ約5,822万円の増額です。

村債は、村が事業を行ううえで、財源不足を補うための借入金で、将来交付税措置される有利な特例地方債（過疎対策事業債など）を借入れています。こちらは27年度に比べ約2億3,350万円の増額となりました。

繰入金は、主に財源不足を補うために基金を取り崩して繰り入れたものです。こちらは27年度に比べ約4,101万円の増額となりました。

繰越金は、前年度から引き継がれる費目であり、27年度に比較して約5,048万円の増額となりました。

## 特別会計の決算状況

会計区分	収入済額	支出済額	歳入歳出差引額
国民健康保険	5億5,349万円	5億749万円	4,600万円
介護保険	4億5,571万円	4億3,555万円	2,016万円
浄化槽設置管理	3,316万円	3,268万円	48万円
後期高齢者医療	3,310万円	3,266万円	44万円
簡易水道	9,193万円	8,708万円	485万円